

占領下の沖縄で米軍の圧政と闘った男の生き様を、貴重な映像で描くドキュメンタリー映画

アメリカ

米軍が 最も恐れた男

その名は、カメジロー

一握りの砂も、一坪の土地も
アメリカのものではない



監督：佐古忠彦 撮影：福田安美 音声：町田英史 編集：後藤亮太 エグゼクティブプロデューサー：藤井和史
プロデューサー：大友淳 秋山浩之 語り：山根基世、大杉漣 テーマ音楽：「Saroo」作曲・演奏 坂本龍一

2017年/日本/日本語/カラー(一部モノクロ)/ビスタ/ステレオ/107分/配給：彩プロ ©TBSテレビ www.kamejiro.ayapro.ne.jp

沖縄の戦後史、
そこで闘った男の生き様を知れば、
地続きの歴史が見えてくる。

沖縄返還45年 日本国憲法施行70年 瀬長亀次郎生誕110年

アメリカ占領下の沖縄で米軍に挑んだ男 瀬長亀次郎のドキュメンタリー映画。
なぜ沖縄の人々は声を上げ続けるのか、その原点はカメジローにあった――。

第二次大戦後、米軍統治下の沖縄で唯一人「弾圧」を恐れず米軍にNOと叫んだ日本人がいた。「不屈」の精神で立ち向かった沖縄のヒーロー瀬長亀次郎。民衆の前に立ち、演説会を開けば毎回何万人も集め、人々を熱狂させた。彼を恐れた米軍は、様々な策略を巡らす、民衆に支えられて那覇市長、国会議員と立場を変えながら闘い続けた政治家、亀次郎。その知られざる実像と、信念を貫いた抵抗の人生を、稲嶺元沖縄県知事や亀次郎の次女など関係者の証言を通して浮き彫りにしていくドキュメンタリー。

JNNだけが持つ、当時の貴重な資料映像の数々をふんだんに盛り込んだTBSテレビが本気で製作した映画が遂に公開。

2016年TBSテレビで放送されたドキュメンタリー番組が、第54回ギャラクシー賞月間賞を受賞するなど非常に高い評価を得ており、映画化を熟望する声を受けて、追加取材、再編集を行って映画化。沖縄戦を起点に、今につながる基地問題。27年間にわたったアメリカの軍事占領を経て、日本復帰後45年経っても、なお沖縄に基地が集中するなか、沖縄の人々が声を上げ続ける、その原点…。それは、まさに戦後の沖縄で米軍支配と闘った瀬長亀次郎の生き様にあった。JNNだからこそ保存されていた貴重な未公開映像やインタビュー、そしてアメリカ取材を交えて描き切る。

筑紫哲也 NEWS 23 でキャスターを務め、
筑紫哲也氏の薫陶を受けた佐古忠彦初監督作品。
テーマ音楽は作品の主旨に共感した
坂本龍一がオリジナル楽曲を書き下ろし。
語りには、名バイプレイヤー、大杉漣が参加。



“沖縄と憲法を考える”映画特集

2月3日(土)～2月16日(金)までアンコール上映決定！

当日料金：一般1,300円 学生・シニア1,000円

同時公開 『不思議なクニの憲法』
“2018”
松井久子監督 再編集版

今一度ひとりひとりが沖縄問題と、
憲法問題を考えてみてはいかがでしょうか。

■自由席/定員入替制 ※未就学児童のご入場はお断りさせていただいております。
※満席時と上映開始後のご入場は一切お断り致します。

錦通東新町・中電ビル東 052 (931) 1701
名演小劇場
http://meien.info